

特定小電力
トランシーバー
ミニパ
品番 RJ-TL100
取扱説明書

このたびは特定小電力トランシーバーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。その後大切に保存し、必要なときお読みください。

■保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

上手に使うって上手に節約

保証書別添付

付属品

- 単3形アルカリ乾電池 (3本)
- ベルトクリップ
- ハンドストラップ

特長

- 電話感覚で通話できる双方向トランシーバー(複信18チャンネル)
- 空きチャンネルを自動選択するオートチャンネル(MCA方式)
- グループ通話に便利な単信モード搭載(単信11チャンネル)

便利メモ(おぼえのために、記入されると便利です)

お買い上げ日	年	月	日	品番	RJ-TL100
販売店名				電話()	-
お近くの ご相談センター				電話()	-

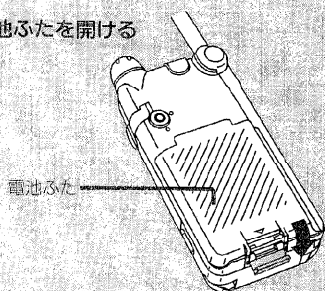
松下電器産業株式会社 オーディオ事業部
〒571 大阪府門真市松牛町1番4号 ☎(06)909-1021

電源

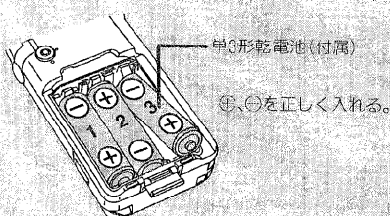
単3形乾電池3本で使用できます。

- 持続時間の長いアルカリ乾電池の使用をおすすめします。
- 電池を交換する前に、まず電源が切れていることを確認してください。

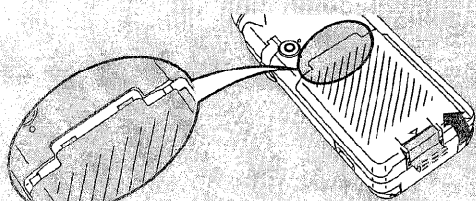
1 電池ふたを開ける



2 電池を入れる



3 電池ふたを閉める



電池の交換時期について

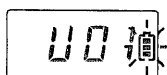
電池残量表示で電池の消耗を確認できます。表示が点滅し始めたら電池が消耗していますので、電池を交換してください。



電池残量表示

電池が消耗すると

ディスプレイに“U01”が表示され、電池残量表示が点滅します。新しい電池と交換してください。電池を交換せずに、さらに消耗がすすむと、自動的に電源が切れます。

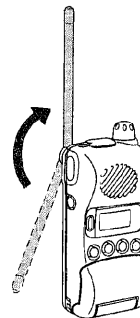


通話のまえに(準備)

アンテナを立てます

アンテナを垂直にした状態でお使いください。

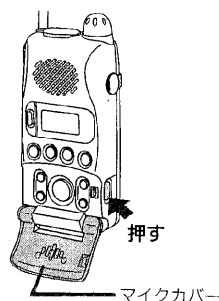
アンテナに手を触れたり、身体に密着させると通話距離が短くなります。



マイクカバーを開けます

開くボタン(矢印)を押す

通話に必要なボタンとマイクは、マイクカバーの内側にあります。



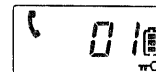
誤操作を防ぐには

ボタンをホールド(働かない状態)にすると、通話に必要なボタン(通話/切、トーク、モニター、ライト/ホールド)以外は働かないので、誤操作を防ぐことができます。電源を入れたままで持ち運ぶときなどに便利です。ボタン操作する前は、必ずホールドを解除してください。

ホールドの切り換え

☀/☾/☹ ボタンを1秒以上長押しする

押すたびに
ホールド(☹) → 解除

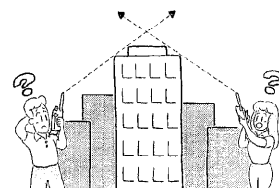


通話距離のめやす

電波の届く距離は、使用条件や、使用する場所によって異なります。

	複信	単信
市街地	約100m~200m	約100m~200m
見通しのよい場所	約0.5km~2.0km	約1.0km~2.5km

コンクリートの壁や自動車など金属物体の近くでは、通話距離が短くなります。



通話する

(複信通話：送信と受信が同時にできるので、電話のように使えます。)

2人で通話するときに使います。

FU-FL100以外のトランシーバーとは通話できません。

1 音量/切つまみをまわし、電源を入れる

2 複信/単信ボタンを押し、“**1**”を表示させる
押すたびに
単信(ト) → 複信(ト)

3 +、-ボタンを押し、相手と同じコールナンバー(1-38)に合わせる
+ 数字が上がる
- 数字が下がる
この状態を受信待ち受け状態といいます。

4 トークボタン、モニターボタン、送信/受信ランプ、マイク

(4-1) 相手を呼び出したいとき

通話/切 ボタンを押す

●ブルブルという音が鳴ります。相手とつながると、“トーク”とチャンネルが表示され、送信/受信ランプがオレンジ色に点灯します。(通話開始)



(4-2) 呼ばれたとき

ブルブルという音が7回鳴ります。呼び出し音が鳴っている間に、

通話/切 ボタンを押す

“トーク”とチャンネルが表示され、送信/受信ランプがオレンジ色に点灯します。(通話開始)



5 通話する

3分間は自由に会話できます。音量/切つまみで、受話音量を調整してください。

注意

通話中は、トークボタンを押しないてください。雑音の原因になります。



●通話中のトランシーバーの持ち方

途中で通話を止めるとき

相手に通話の終了を伝えてから、**通話/切** ボタンを押す

●ピピピと鳴って受信待ち受け状態(手順3)に戻ります。

相手の声が聞きとりにくいとき

相手との距離が離れすぎて音声が入切れるときは、モニターボタンを押してください。雑音に混じって音声が入ることがあります。モニターボタンを使うと、相手が通話を止めたり電源を切っても、通話状態を保持します。

相手とつながらないとき

- 呼び出したい相手が電源を切っている
- 距離が離れ過ぎていて、電波が届かない

このようなときは呼び出し音が8回鳴った後、自動的に受信待ち受け状態(手順3)に戻ります。

通話時間制限について

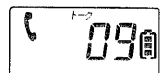
1回の通話時間は3分間です。

残り時間のカウントダウン

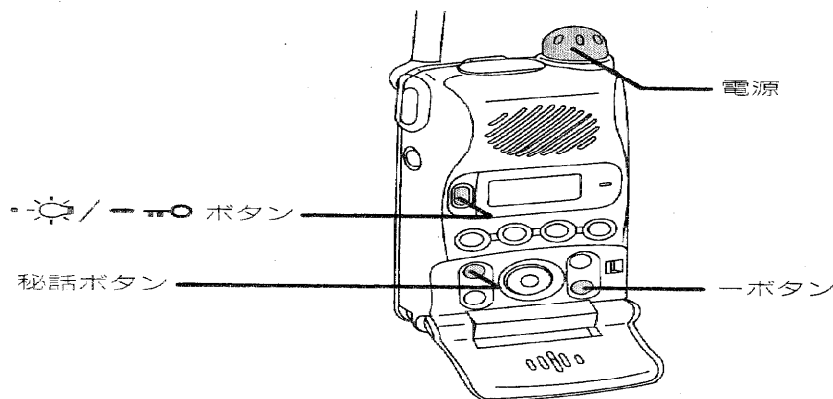
通話終了の10秒前になると、ピと音が鳴り、ディスプレイに残り時間(秒)が表示されます。3分を過ぎるとピピピと鳴って自動的に通話が終了し、受信待ち受け状態に戻ります。

●続けて通話するとき、約2秒待ってから相手を呼び出してください。

●通話中に相手との距離が離れ過ぎると、自動的に通話が終了し受信待ち受け状態に戻ります。(モニターボタンを使っていないとき)



便利な使い方(2)



ほかの人に話を聞かれないとき(秘話)

秘話機能を使っている人同士でないと、会話の内容を聞き取れなくする機能です。秘話機能を使うときは、相手に知らせ、相手も秘話をオンにしてください。

■秘話機能の切り換え

秘話ボタンを押す。

押すたびに

秘話(☺) → 解除



暗い所で表示を確認したいとき

☼/⏸ (ライト/ホールド) ボタンをポンと押す。

ボタン操作中は、ディスプレイが明るくなり、ボタン操作が終わると約5秒後にライトが消えます。

電源の切り忘れによる電池の消耗を防ぐ(オートオフ)

通話をしないで1時間以上経過すると、自動的に電源が切れます。

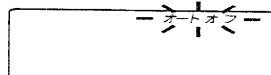
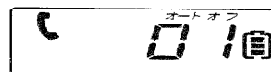
■オートオフの切り換え

一ボタンを押しながら、電源を入れる。

操作するたびに

オートオフ(オートオフ) → 解除

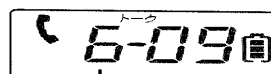
オートオフ機能が働いて電源が切れると、“オートオフ”が点滅します。(電源は切れています。) 使用する前に、電源つまみをまわして、電源を入れなおしてください。



通話中のディスプレイ表示について

どのチャンネル(周波数)を使って通話しているか確認できます。

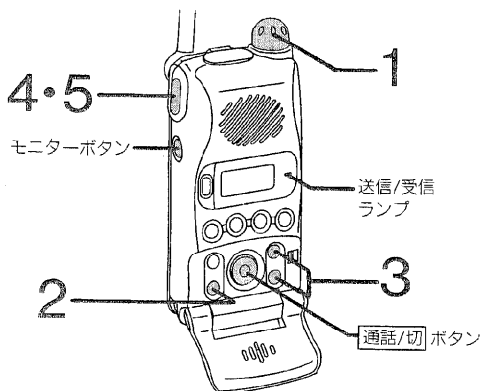
本機は、空きチャンネルを検出し、通話に使うチャンネルを自動で選択するMCA(マルチチャンネルアクセス)方式ですので、自分でチャンネルを合わせる必要はありません。



チャンネル表示

2人以上の人に、同時に送信するとき(単信通話)

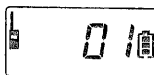
送信、受信を交互に行う通話方法です。



1 音量/切つまみをまわし、電源を入れる

2 複信/単信ボタンを押し、“”を表示させる

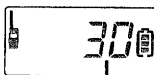
押すたびに
単信() → 複信()



3 +、-ボタンを押し、相手と同じコールナンバーに合わせる

- 数字が上がる
- 数字が下がる

この状態を受信待ち受け状態といいます。



コールナンバー

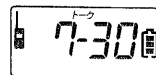
4

相手を呼び出したいとき

トークボタンを押す
ビ、と鳴って“トーク”が表示されると、相手とつながります。(通話開始)

呼ばれたとき

ビビ、ビビ、ビビと鳴って、“トーク”が表示され、相手とつながります。(通話開始)



5

通話する

通話開始から3分間は、交互に会話できます。

送信するとき

トークボタンを押しながらマイクに向かって話す。
●送信/受信ランプが赤く点灯します。

受信するとき

送信/受信ランプが緑に点灯しているときは受信中です。送信しないでください。

受信するとき

トークボタンを離して待っていると、スピーカーから声が聞こえます。
電波を受信すると(音声信号がなくても)送信/受信ランプが緑に点灯します。



●通話中のトランシーバーの持ち方

途中で通話をやめるとき

相手に通話の終了を知らせてから、双方とも「通話/切」ボタンを押す。

●必ず双方とも「通話/切」ボタンを押してください。

相手とつながらないとき

- 呼び出したい相手が電源を切っている
- 距離が離れ過ぎていて、電波が届かない

このようなときは、トークボタンを押すとビビビと音が鳴り、受信待ち受け状態(手順3)に戻ります。

相手の声が聞き取りにくいとき

モニターボタンを押すと、雑音に混じって音声聞こえることがあります。もとに戻すには、もう1度モニターボタンを押してください。

●受話音量は、スピーカーを耳に近づけて聞く程度のレベルです。

参考

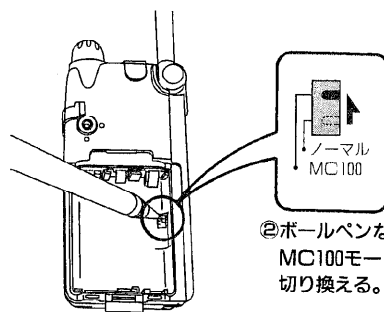
単信通話時、MC100モード時も、「便利な使い方」の機能を同じ方法で使うことができます。ただし、MC100モード時は、MYモードが使えません。

MYモードの専用番号やメモリーは、各通話モード(複信、単信、MC100モード)で別々に設定できます。

RJ-MC100と通話する

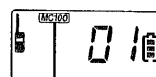
特定小電力トランシーバーRJ-MC100と通話する場合は、次の操作で本機をMC100モードに切り換えてください。

①電池ふたを開ける。



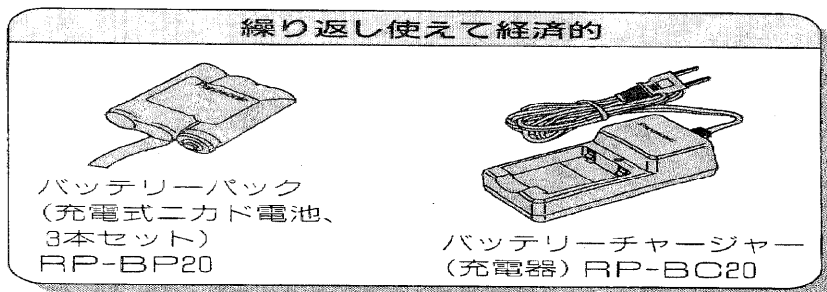
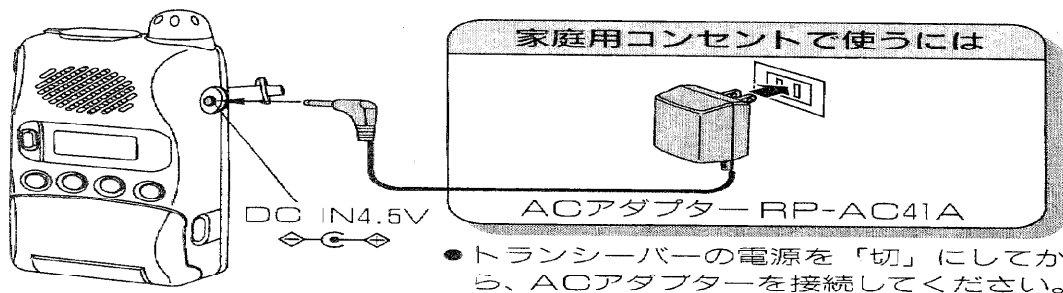
②ボールペンなどでMC100モードに切り換える。

通話の方法は、単信通話と同じです。(上の手順1, 3, 4, 5) ただし、コールナンバーは1から99の中から選べます。

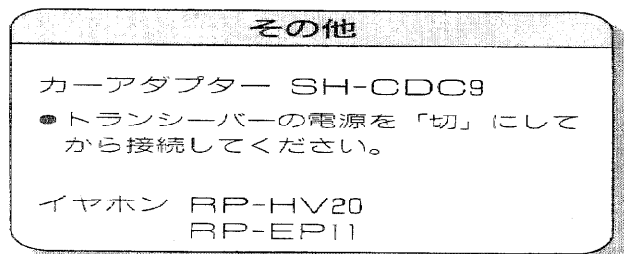
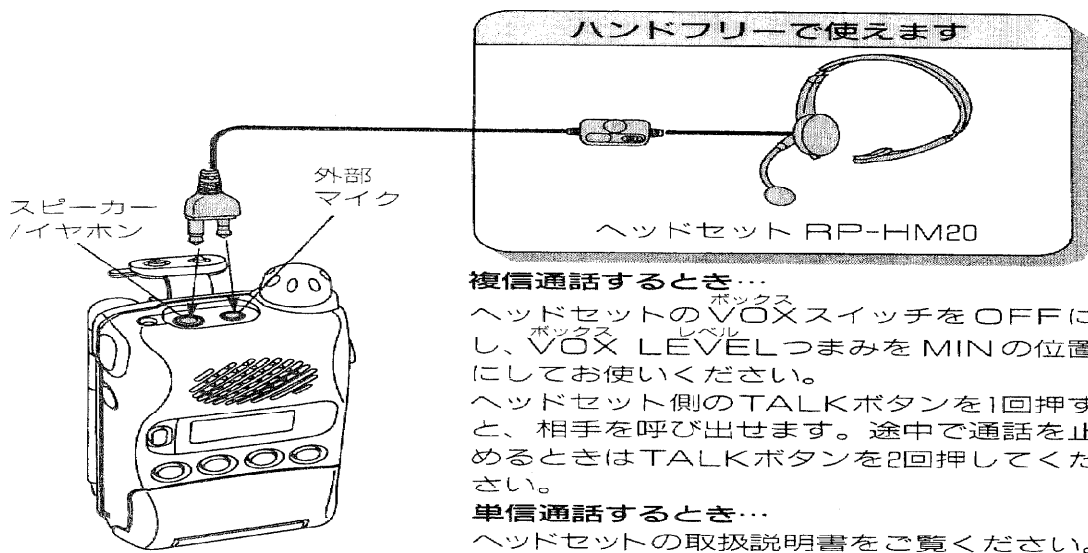


MC100モード

別売り品と組み合わせて使う



- バッテリーパックのリボンを下向きにして本体にいられておくと、取り出すときに便利です。

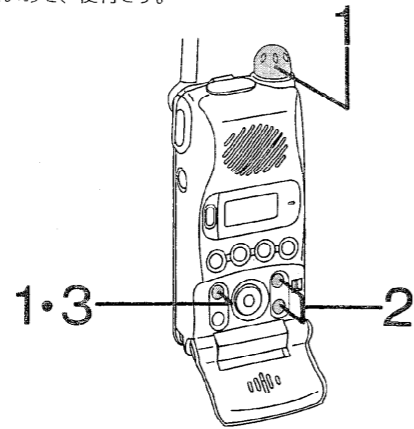


便利な使い方(1)

●3台以上のトランシーバーを使っているときに便利です。

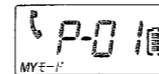
自分の専用番号を設定する(MYモード)

コールナンバーの中から1つ、自分の専用番号として設定できます。専用番号での呼び出しがあると、表示されているコールナンバーにかかわらず、呼び出し音が鳴り、通話を始めることができます。他のコールナンバーを使って通話した後、自分の番号に戻さなくてもよいので、便利です。



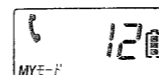
例：専用番号を12に設定する

1 MYボタンを押しながら電源を入れて、“MYモード”を表示させる



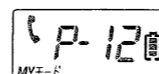
1の操作をするたびに
MYモード(MYモード)→解除

2 +、-ボタンを押して“12”を表示させる



3 MYボタンを2秒以上長押しする

●ピ、ピピと音が鳴り、12が自分の専用番号に設定されました。



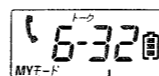
専用番号を変えるには
手順1から3を繰り返す

自分の専用番号を確認するには

ホールドを解除した状態で一度電源を入れなおすと専用番号が表示されます。

ご参考

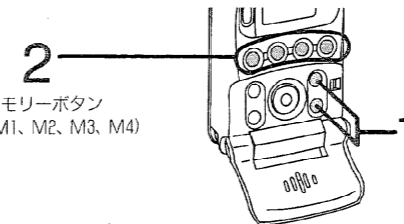
呼び出しがあると、ディスプレイに相手の専用番号が表示されます。次と同じ相手と通話したいとき、そのまま「通話/切」ボタンを押すだけで呼び出せるので便利です。



相手の専用番号

よく使用するコールナンバーをメモリーする

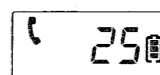
メモリーしておく、相手呼び出したときに、簡単にコールナンバーをかえることができます。



メモリーボタン
(M1、M2、M3、M4)

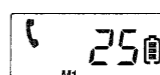
例：コールナンバー25をM1ボタンにメモリーする

1 +、-ボタンを押して、“25”を表示させる



2 M1ボタンを1秒以上長押しする

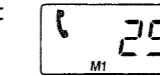
●ピ、ピピと音が鳴ります。



メモリーした番号を使うには

メモリーボタン(M1、M2、M3、M4)をポンと押す

メモリーされたコールナンバーが表示されます。



MYモードとメモリーを組み合わせて使うときの例

MYモードに切り換えて、それぞれの専用番号を決める



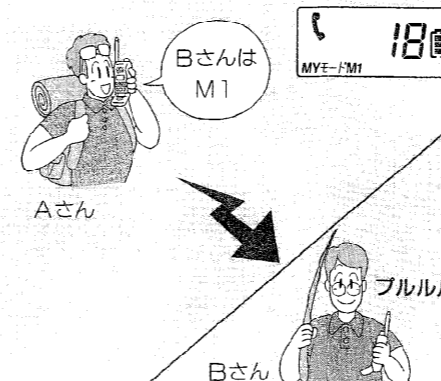
●自分の専用番号を仲間に知らせておきます。

仲間の専用番号をメモリーしておく

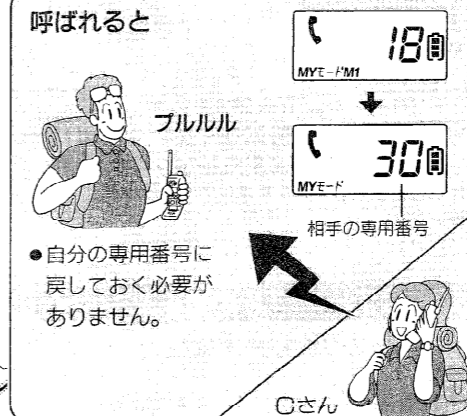
メモリーボタン	名前
M1	Bさん(18)
M2	Cさん(30)
⋮	⋮

相手呼び出したとき

メモリーボタンを押して、相手の専用番号を表示させ、呼び出します。



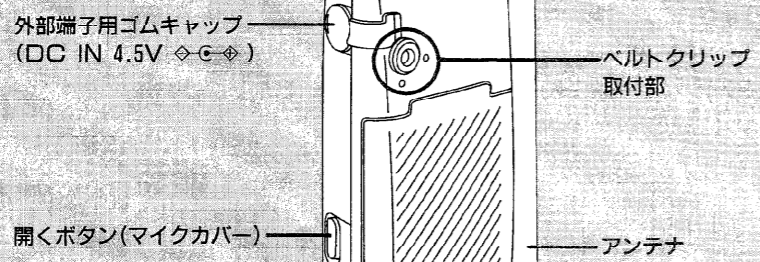
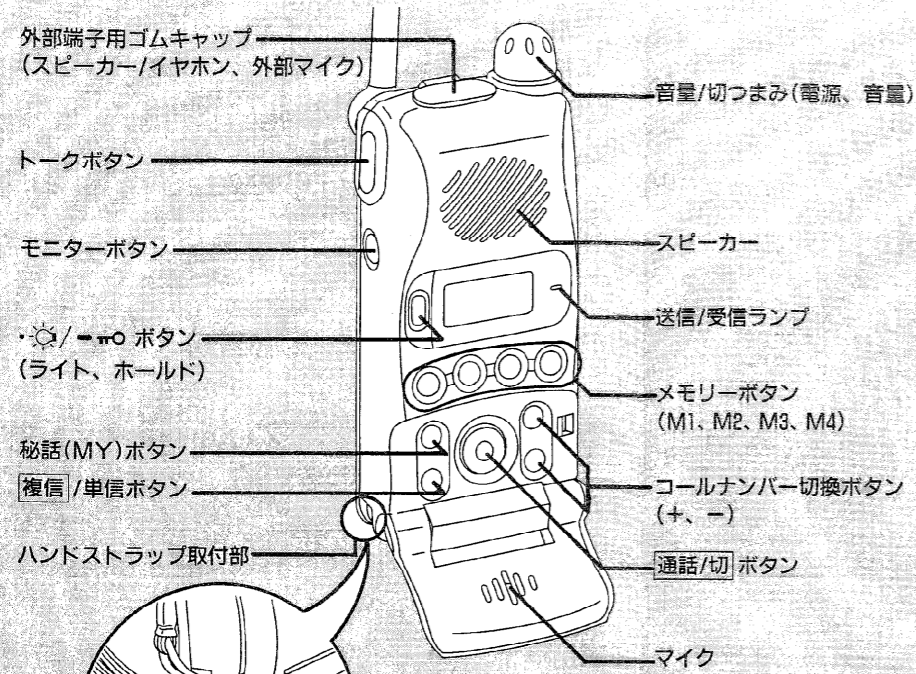
呼ばれると



●自分の専用番号に戻しておく必要がありません。

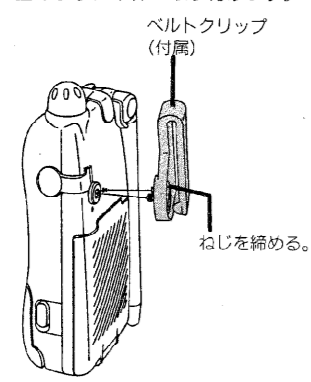


各部のなまえ

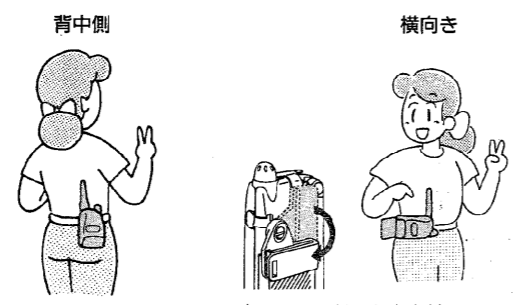


ベルトクリップの使い方

図のように本体に取り付けます。



動作のじゃまにならないように、身体の側面、背中側、または横向きに取り付けることをおすすめします。



●横向きに取り付けたときは、電池ふたの開閉ができません。

ご注意/お手入れ

本機は郵政省の技術基準適合証明を受けて発売していますから、免許は不要です。お求めになったその時から、すぐにご利用いただけます。

使用時の注意

- 電波法を守ってご使用ください。本機底面の技術基準適合証明ラベルをはがして使用することは、法律で禁じられています。分解や改造しないでください。
- 他人の通信を聞いて、これを漏らしたり窃用しないでください。
- 本機の使用は日本国内に限られています。
- 旅客用航空機の中では、使用しないでください。
- ラジオやテレビの近くで使用すると、電波妨害を与えたり、受けたりすることがありますので、これらの機器からは離れて使用してください。

本体

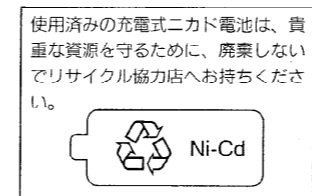
●夏の開め切った車内に放置しないでください。100度に達することもありますので、キャビネットが変形、変色することがあります。

乾電池

- 乾電池の破損・液漏れなどの防止のために、つぎのことをお守りください。
- +プラスと-マイナスは正しく入れる。
 - 新しい乾電池と、使用した乾電池は混用しない。
 - 違う種類の乾電池は混用しない。
 - 乾電池は充電しない。
 - 長時間使用しないときは、乾電池を取り出しておく。
 - 火の中への投入や、ショート、加熱はしない。

電池の持ち運び

ポケットやかばんに入れるときは、ネックレスなどの金属物といっしょにしないでください。ショートし、発熱するおそれがあります。



お手入れについて

- 柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、水や石けん水を含ませた布でふき、後は空ぶきしてください。
- アルコールやシンナーは使わないでください。
 - 化学ぞうきんをご使用のときは、その説明書をご覧ください。



●本機は日常生活防水です。(JIS保護等級4、防まつ型相当) 雨や雪のなかでも、濡れた手でも使えます。水につけると故障の原因となります。



定格

- 電波形式：F3E、F2D
- 送受信周波数
- 複信：440.0250～440.2375MHz、421.5750～421.7875MHz (12.5kHzステップ18ch対波、F3E) 440.2500MHz、421.8000MHz (周波数制御ch、F2D)
- 単信：422.0500～422.1750MHz (12.5kHzステップ11ch、F3E) 422.1875MHz (周波数制御ch、F2D)
- 周波数安定度：±4ppm
- 使用温度範囲：-10℃～+50℃
- 電源電圧：DC4.5V (付属単3形乾電池×3個) DC3.6V (別売り充電式電池RP-BP20) AC100V、50/60Hz (別売りACアダプターRP-AC41A) DC12/24V (別売りカーアダプターSH-CDC9)

- 送信出力：10mW
- 低周波出力：5mW (EIAJ)
- 受信感度
- 複信：-5dBμ (12dB SINAD)
- 単信：-7dBμ (12dB SINAD)
- 最大外形寸法：59(W)×125(H)×35(D)mm
- 重量：約200g (乾電池含む)

使用電池	複信時	単信時	単/複連続待受時
付属パナソニックアルカリ乾電池LR6	約28時間	約38時間	約100時間
別売り充電式電池RP-BP20	約12時間	約15時間	約35時間

測定条件：(複信時) 待ち受け12分、通話3分 (単信時) 待ち受け8分、送信1分、受信1分

電池持続時間は使用条件により、短くなる場合があります。

この定格は性能向上のため変更することがあります。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは	ここをご確認ください
電源が入らない。	●⊕、⊖が正しく入っていますが、●電池が消耗していませんか。
“U01”が表示された。	●電池が消耗しています。
通話できない。	●相手と同じコールナンバーに合せていますか。 ●相手との距離が離れすぎていませんか。
電源が切れてしまった。	●オートオフ機能を使っていませんか。 ●一度電源を入れ直してください。
ボタン操作できない。	●ホールドになっていませんか。
音声がおかしい。	●秘話機能を使っていませんか。
ディスプレイに異常な表示が出る。	●一度電源を入れなおしてください。

アフターサービスについて

保証書 (別に添付してあります。)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上と大切に保管してください。

保証期間—お買い上げ日から1年間

修理を依頼されるとき

上の「故障かな!?’に従って調べていただき、直らないときにはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。お買い上げの販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「お客様相談センター」(別紙)にご連絡ください。

●保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店へご依頼ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「お客様相談センター」(別紙)にご連絡ください。

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は、製造切り後6年です。この期間は、通商産業省の指導によるものです。

アフターサービスについておわかりにならないとき

お買い上げの販売店または、お近くの「お客様相談センター」(別紙)にお問い合わせください。

